

茨高は志が高い人が多く、周りの環境が自分に刺激を与えてくれる

T. I.

上智大学 総合人間科学部 看護学科 進学

国立 茨城大学教育学部附属中学校 卒業

私は小さい頃から医療従事者になり、患者さん一人ひとりのライフスタイル、価値観、性格に合ったケアができるような人材になりたいという夢がありました。そこでどんな仕事なのか、実際に現場で働く人はどのような心構えなのかという細かな部分まで聞ける「医学コース」というものに所属しました。自分の目や耳で興味のある職、今実際に起きている病状などさまざまな医療従事者から直接お話を伺うという貴重な経験をすることができ、特定の職を決めていなかった私にとって、自分の将来像を決める有意義な時間となりました。また、医学コースの良いところは茨高のOBの方や連携している病院など様々な人と関わることができ、将来医療従事者になりたいという同じ夢を持った茨高生と共に活動できることです。周りの環境がよく、アドバイスを得られるような関係性もここまで頑張れたことの要因の1つだと思います。

コロナ禍になり、入学後早々に休校になりました。しかし、小さい頃からやっていたソフトテニスを高校でも続けたいと思い、休校明けに入部しました。高入生ということもあり、元々できている輪の中に入り、部活をしていくことに不安はありましたが、部員みんなが暖かく迎えてくれたおかげで、和気あいあいと楽しみながらできました。部活を通して一貫生とも仲良くすることができ、交友関係が広がりました。高校生活がコロナによって制限された中で開催された文化祭では、生徒主体となり、より良いものをつくろうと頑張った時間がとても楽しかったです。研修旅行が中止になり、行事1回がとても濃い時間となり、「The 青春」というものを感じられました。3年生のクラスマッチでは体育館を貸し切った開催により、とても大規模でした。クラスマッチが終われば受験が始まる。そんな最後のみennaと関われるチャンスの中、本気で戦い、汗を流し、励ましあいながら全力で仲間と共に過ごしたのはかけがえのない時間になりました。

茨高の良いところは志が高い人が多く、周りの環境が自分に刺激を与えてくれるところです。多くの生徒が大学受験を目指して3年間頑張っている姿は自分も負けてはいられないと学習意欲を高めてくれました。自分が分からない問題を友達に聞いたり、逆にわかるところを教えたりとお互いに支えあうことができます。1・2年生は高入生だけのクラスということもあり、絆がより深まりました。3年生は一貫生と合同クラスになり、新環境ですが受験を共にしていく中で高入生と一貫生の壁というものは少しずつ感じなくなり、同じ苦境で同じような志を持つ友達は自分にとって心強い戦士となりました。また、茨高を選んだ理由は、海外志向な面を持つところです。研修旅行に行くことはできませんでしたが、研修旅行の行先が海外であることや1年生の授業の一環として行うオンライン英会話、海外大学のセミナーがあることはこれからグローバルになっていく社会において視野が広がると考えたからです。

大学進学後は、患者さん一人ひとりの価値観やライフスタイル、性格に合ったケアができる人材になれるように教育や心理、様々な教養を学びたいと思っています。国家試験に向けて4年間邁進し続け、専門性のある知識のほか、責任感ある行動を心がけながら社会に役立てる人材となれるように日々精進していきたいです。